



エコモチ
eco motivation up project

テストランニング結果レポート

2007年7月4日



株式会社フルハシ環境総合研究所

www.fuluhashi.jp

エコモチとは

企業人の**エコ・モチ**バージョンアッププロジェクト

「人にやさしい行動、地球にやさしい行動」ってどんなことでしょうか？

それはきっと、私たち一人ひとりが相手のことや地球のことを考えること。大それたことでも難しいことでもなく、ちょっとしたやさしさや思いやりの、小さな積み重ねではないでしょうか。エコモチはそんな一人ひとりの“思い”を“行動”に繋げ、その輪を広げていくプロジェクトです。

エコモチでは、「人にやさしい行動、環境にやさしい行動」をとると「シード」というポイントが得られ、たくさん行動をとることで、「シード」を貯めていくことができます。

貯めたシードは物やお金に交換するのではなく、「人や地球に役に立てるための支援」として、あなたが支援したい団体に寄付をすることができます。

あなたの小さな行動が、大きな活動へと繋がるのです。

テストランニングの目的

エコモチの考え方を広め、社会で汎用性のあるシステムを構築するために、エコモチに賛同する企業が集まってコンソーシアム(共同研究体)を立ち上げ、参加する企業の持ち味を活かし、協働で実現に向けて取り組みを進めてきました。

社会システム構築のための第一歩として、コンソーシアムに参加している企業の社員の皆様にモニターとして協力いただき、テストランニングを行いました。

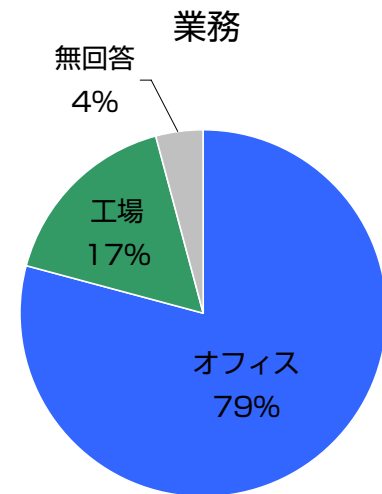
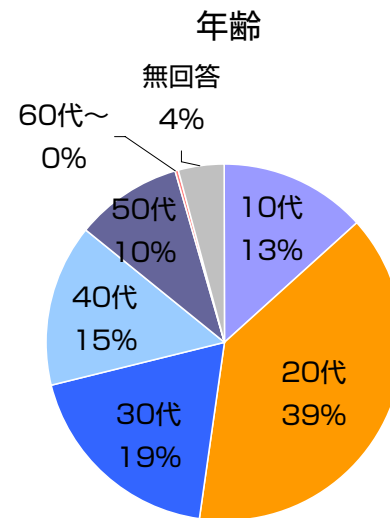
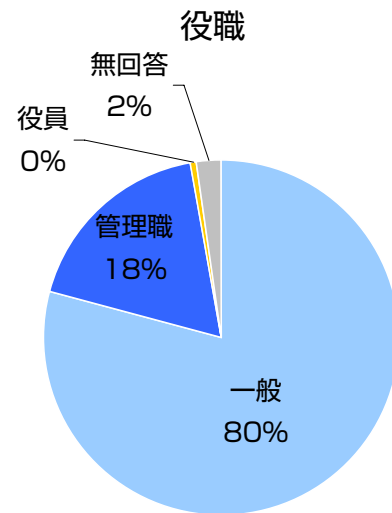
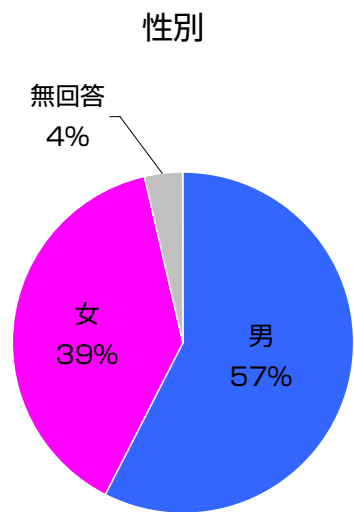
このテストランニングを通して、「行動メニューの実践」や「人や地球に役に立てるための支援」がモニターの皆様にとって心の変化につながったかどうかなど効果検証を行うとともに、モニターの皆様からエコモチの仕組みに対するご意見をいただき、社会システムとしてのあり方を検討しました。

テストランニング参加企業、参加人数

合計9社から、526名がテストランニングに参加しました

企業名	対象	参加人数
味の素株式会社	新入社員	100名
NECパーソナルプロダクツ株式会社	全社対象	107名
小林クリエイト株式会社 (旧社名:小林記録紙株式会社)	全社対象	96名
株式会社JTB関東	全社対象	24名
積水化学工業株式会社	環境担当者	16名
ソニー株式会社	生産／設計部門	56名
株式会社ソニー・ミュージック コミュニケーションズ	環境担当者	42名
トステム株式会社	全社対象	70名
株式会社フルハシ環境総合研究所	全社対象	15名

参加者の属性



テストランニング実施概要

1. 期間

2007年5月7日(月)～6月11日(月)の任意の4週間

2. 実施方法

【1日目】「エコモチ行動チェックシート」にあるエコ行動のリストから、既に取り組んでいる項目、およびこれからチャレンジする項目をチェックする。

【2週間後】既に取り組んでいる項目が継続的に実践できたか、またチャレンジ項目が実践できたかチェックする。このとき、次回チェックに向けて、チャレンジ項目を増やすことができる。

【4週間後】再び、各項目が実践できたかチェックする。2週間後、4週間後につけたチェックの数の合計が、シード数となる、また、アンケートに回答する。アンケート上で、シードを寄付したい支援先を選ぶ。チェックシート、アンケート用紙を提出する。

※「エコモチ行動チェックシート」「アンケート用紙」は電子ファイルまたは紙を配付

テストランニング実施概要

3. シードの換算レート

1シード=1円(企業負担)

4. 支援先

教育、環境、人道支援の3つのテーマから、事務局が定めた基準に則り選定しました。

【教育】 世界寺子屋運動（社団法人日本ユネスコ協会連盟）

【環境】 「子供の森」計画（財団法人オイスカ）

【人道支援】 地雷回避教育（認定NPO法人難民を助ける会）



【世界寺子屋運動】世界中のすべての人が、読み書きや計算を学べるように、教育の機会を提供する運動です。



【「子供の森」計画】緑の地球を未来の子供たちに。緑と自然を愛するところを育みます。



【地雷回避教育】地雷について学ぶことが、被害を未然に防ぐことにつながります。

テストランニング実施概要

5. 行動メニュー

行動メニューは「会社・仕事編」と「家庭・生活編」にわけ、それぞれ15個ずつ用意しました。自由記入欄(それぞれ3個まで)に、自分でメニューを増やすこともできます。

会社・仕事編		家庭・生活編	
1	職場でムダな照明を消した	1	環境にやさしいものを買った
2	職場でエアコンのムダづかいをしなかった	2	家でこまめに照明を消した
3	パソコンはこまめにオフした	3	家でエアコンのムダづかいをしなかった
4	職場での待機電力カットに貢献した	4	お風呂でお湯を大切にした
5	紙をムダづかいしなかった	5	エコクッキングをした
6	職場でリユースを実践した	6	食べ物・飲み物を残さなかった
7	職場でマイカップ、マイ箸をつかった	7	家でムダな待機電力をカットした
8	工作中、なるべく階段をつかった	8	なるべく階段をつかった
9	工作中、エコな交通手段をとった (車をつかった場合はエコドライブをした)	9	車をつかわない交通手段を選んだ
10	出張中、宿泊先でエコを実践した	10	レジ袋をこたわった
11	社内や営業先で、エコ提案をした	11	ハンカチをつかった
12	会社のボランティアイベント・キャンペーンに参加した	12	ボランティア活動や募金をした
13	会社のボランティアイベント・キャンペーンへの参加を呼びかけた	13	エコイベントに行った
14	職場でエコの話をした	14	エコイベントを運営した
15	職場で元気にあいさつをした	15	環境について勉強した

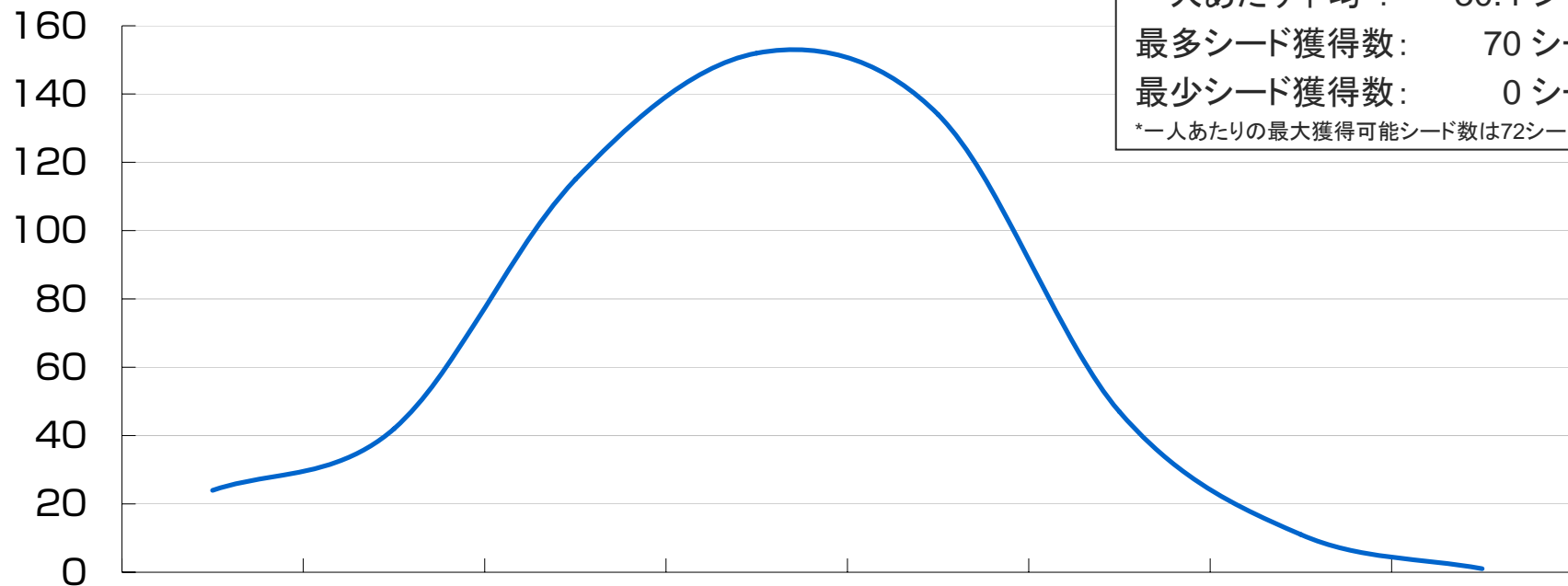
※実際の行動メニューでは、わかりやすくするための工夫として、解説や、具体例が補足されています。

シード獲得数

参加人数: 526名

シード獲得数に応じた人数分布

シード獲得総数: 15,984 シード
一人あたり平均*: 30.4 シード
最多シード獲得数: 70 シード
最少シード獲得数: 0 シード
*一人あたりの最大獲得可能シード数は72シード



シード数少ない

シード数多い

個人ランキング(トップ10)

順位	会社名	モニター 番号	合計シード
1位	NECパーソナルプロダクツ	57番	70シード
2位	味の素	63番	59シード
3位	NECパーソナルプロダクツ	103番	56シード
	味の素	72番	
	小林クリエイト	68番	
6位	NECパーソナルプロダクツ	2番	55シード
7位	NECパーソナルプロダクツ	45番	54シード
	NECパーソナルプロダクツ	67番	
	ソニー	19番	
	フルハシ環境総合研究所	8番	

エコモチ行動の実践率

全体のうち、期間内に各項目の行動を実践した人の割合を実践率します。

会社・仕事編では、15項目中10項目において実践率が5割を超え、

家庭・生活編では、15項目中9項目において実践率が5割を超えました。

会社・仕事編	実践率
職場でムダな照明を消した	75.9%
職場で元気にあいさつをした	73.0%
紙をムダづかいしなかった	71.2%
工作中、なるべく階段をつかった	70.7%
パソコンはこまめにオフした	63.0%
職場でエアコンのムダづかいをしなかった	58.4%
職場での待機電力カットに貢献した	55.1%
工作中、エコな交通手段をとった (車をつかった場合はエコドライブをした)	53.3%
職場でマイカップ、マイ箸をつかった	52.9%
職場でリユースを実践した	52.6%
職場でエコの話をした	37.8%
出張中、宿泊先でエコを実践した	25.2%
会社のボランティアイベント・キャンペーンに参加した	15.8%
社内や営業先で、エコ提案をした	15.6%
会社のボランティアイベント・キャンペーンへの参加を呼びかけた	9.5%

家庭・生活編の行動メニュー	実践率
家でこまめに照明を消した	83.1%
家でエアコンのムダづかいをしなかった	78.1%
お風呂でお湯を大切にした	73.1%
食べ物・飲み物を残さなかった	72.8%
ハンカチをつかった	71.8%
なるべく階段をつかった	63.0%
家でムダな待機電力をカットした	61.9%
車をつかわない交通手段を選んだ	50.6%
レジ袋をこたわった	50.3%
環境にやさしいものを買った	48.8%
環境について勉強した	35.3%
エコクッキングをした	32.6%
ボランティア活動や募金をした	14.2%
エコイベントに参加した	5.3%
エコイベントを運営した	2.8%

自由記入欄に書かれた、個人の取り組み

会社・仕事編

■ 営業活動でエコを実践

CO2ゼロ旅行販売
営業車でなるべくエアコンを使用しない

■ 啓発活動に力を入れた

グリーンサイクル見学会に参加した
エココラム作成
環境活動を行っている方とのネットワークを広げた
環境活動を広げる体験会を開催した
部内にコピー用紙削減を呼びかけた

■ 水を大切に使った

節水を心がける。
歯磨き時のコップ持参(紙コップ使わない)
職場で水を溜めて麦茶を冷やした

■ 通勤エコを実践

通勤時法定速度を遵守した
通勤途中、他の車や歩行者にやさしい運転をした
自転車で通勤した

■ 3R(Reduce、Reuse、Recycle)を実践

本は古本を購入する
備品を大事に使う
水筒を持ち歩く
ごみをしっかり分別する

■ 研究活動でエコを実践

環境に関する技術開発を行う
実験溶媒の無駄を減らす
無駄な実験をしない

■ 残業を減らした

できるだけムダ(?)な残業をしないよう心掛けた

■ 省エネで気がついたことを実践

エアコンフィルタ清掃
PCモニターの電源の積極的なOFF
休憩時 プリンタ電源OFF

■ 4S(整理・整頓・清掃・清潔)を実践

書類の整理整頓
朝の5分間清掃を実施した
毎日クリーンデスク
4Sの徹底を行った
流し台をきれいに使った

自由記入欄に書かれた、個人の取り組み

家庭・生活編

■ 人に、環境に優しい運転を实践

エコドライブをした
クルマの荷物をおろした
相手に優しい運転をした

■ 旅行時にエコを实践

エコ旅行をした
旅行での宿泊先でエコを实践した

■ 地域で清掃活動を实践

地域のボランティア活動(ゴミ拾い)に参加した
犬と散歩をする時、ゴミを拾う
レジャー関連を行った際、周囲のゴミも持ち帰り処分した

■ 社会マナーやボランティアを实践

横断歩道での一時停止励行
電車で老人や妊婦に席を譲るようにしている
歩きタバコ、ポイ捨てをしている男性に注意をした。
夜回りを実施した
地域で元気にあいさつをした

■ 3R (Reduce、Reuse、Recycle) を实践

ごみの分別をした
資源ゴミは回収BOXへ提供した
壊れた製品を修理した
生ゴミをコンポスト処理した
使用しなくなった子供服を知り合いに譲る
フリーマーケットに出展する物品を寄付した
クリーニングのハンガーを返却

■ 寄付をした

PLAN JAPAN に寄付

■ キッチンでエコを实践

油を使った食器をティッシュで拭いてから洗った
エコ給湯を使用した
できるだけ、水をつかった(お湯の代わりに)
電気ポットの保温を使わない
冷蔵庫の効率化
野菜をムダにしない本を読んで实践

■ 雨水利用や節水を实践

雨水を貯めて、洗車した
庭木の水やりは、雨水を貯めて実施した
洗面利用時水の流しっぱなしをなくした
お風呂の残り湯を洗濯に使用
洗濯をまとめてする

■ 家庭でエコトーク

家庭で地球温暖化について話し合った
家族と環境について話した

■ エコ取り組みに参加

万博エコマナーに参加した
チームマイナス6%に参加した
環境(CO2)家計簿にデータを入力した

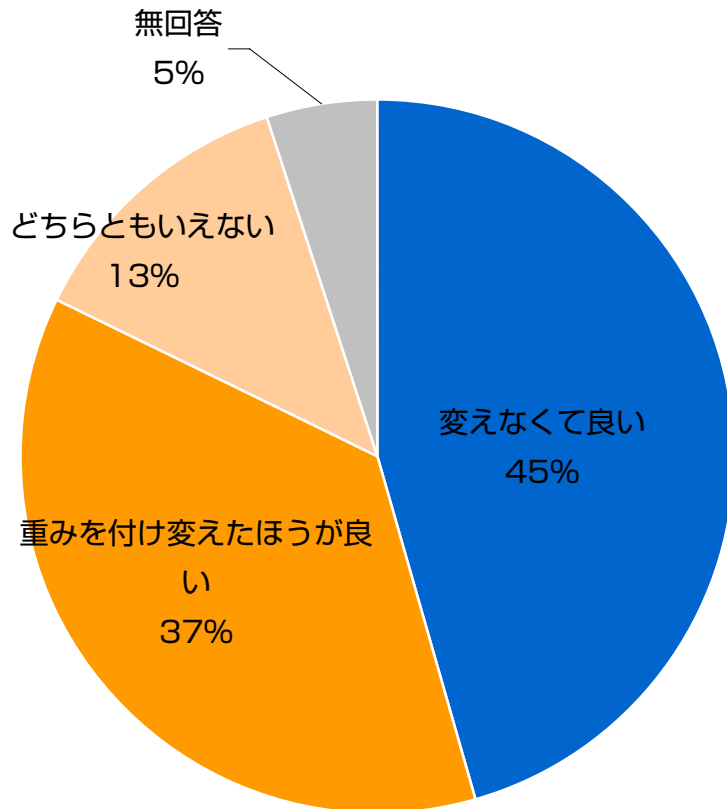
■ 緑や野菜を育てる

庭や田畑等に緑(木)を植えた。壁をツタでおおった
ベランダで植物(樹木)を育てている
庭木の手入れをした
米・野菜を無農薬栽培した

アンケート集計結果

【問1】 行動メニューの重み付け

今回は全ての行動が1チェック=1シードに統一されていましたが、行動の内容によって、獲得できるシード数の重み付け(例えば、毎回レジ袋を断った人は2シード、1回だけの方は1シードのようにシード数を変える)を変えたほうが良いと思いますか？



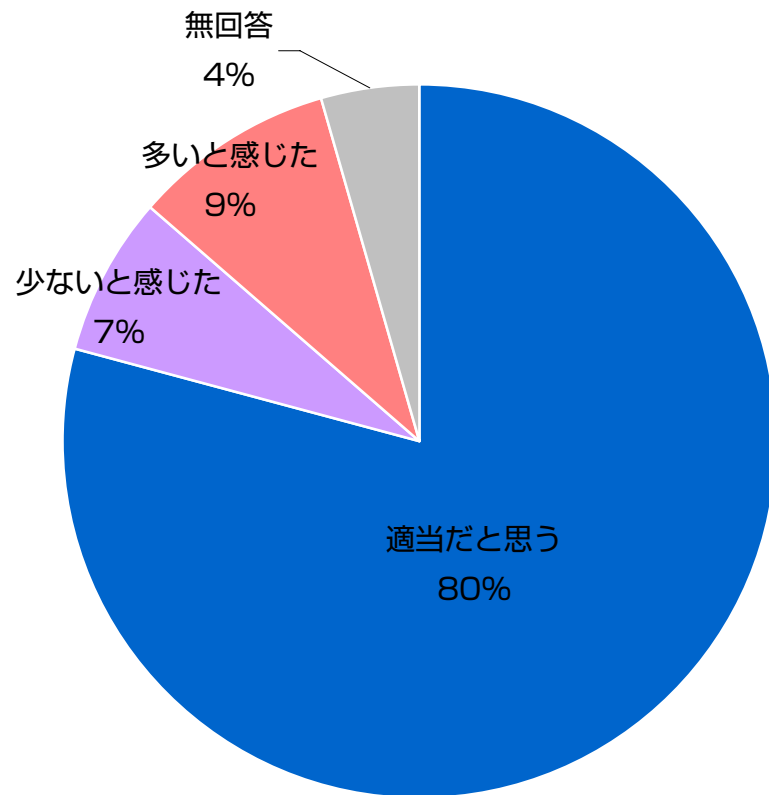
行動の“重み”は、人それぞれの価値観に左右され、定量化が難しい。

重み付けをすることで、より環境負荷低減効果の高いアクション実行へモチベーションを高める効果が期待できるが、シンプルでわかりやすいということを、導入時には重視したい。

アンケート集計結果

【問2】 行動メニューの数

行動メニューの数は適当だと思いますか？

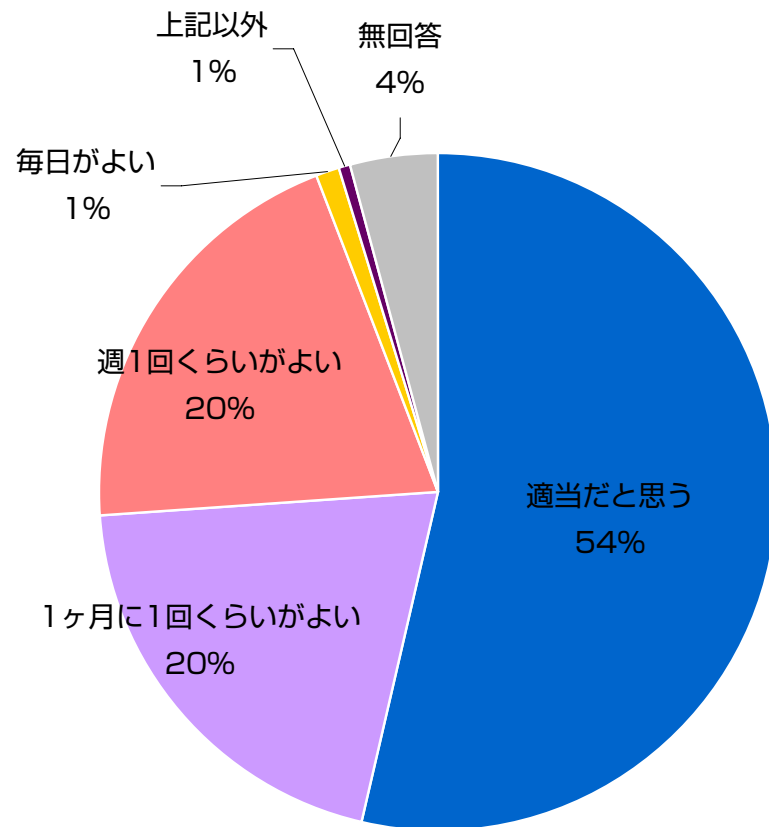


テストランニングでは、会社・仕事編15個、家庭・生活編15個で合計30個の行動メニューを用意したが、数は適当であるという意見が8割であるため、30個程度のボリュームが最適であるといえる。

アンケート集計結果

【問3】 チェックの頻度

チェックする頻度(2週間に1回)は適当だと思いますか？



おおむね2週間に1度という頻度でのチェックは特別に不満が出るほどではなかったといえる。

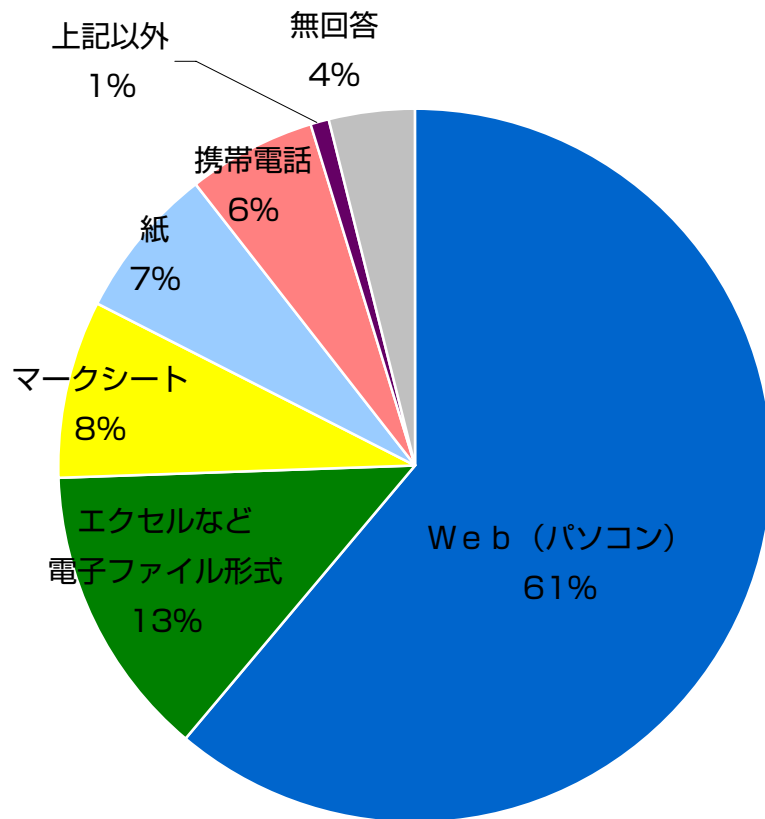
毎日チェックできるという頻度を最多とし、各社で頻度を自由に設定可能とするシステムが求められる。

※「上記以外」で挙げられた回答:期間で一回/行動内容によって違うと思う/いつでもどこでも

アンケート集計結果

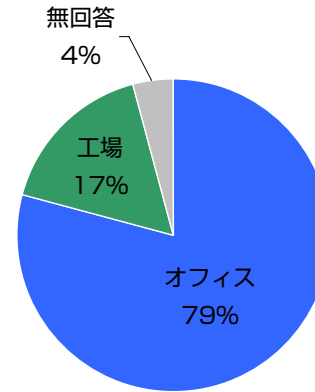
【問4】 チェックシートの媒体

あなたはチェックシートがどのような媒体だと最も使いやすいと思いますか？

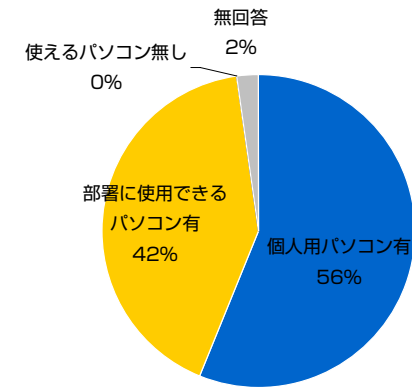


※「上記以外」で挙げられた回答: 普段目にしやすいようなカード(紙)形式/チェックシートをプリントアウトして貼り、使用していた。

モニターの属性(業務)



パソコン環境



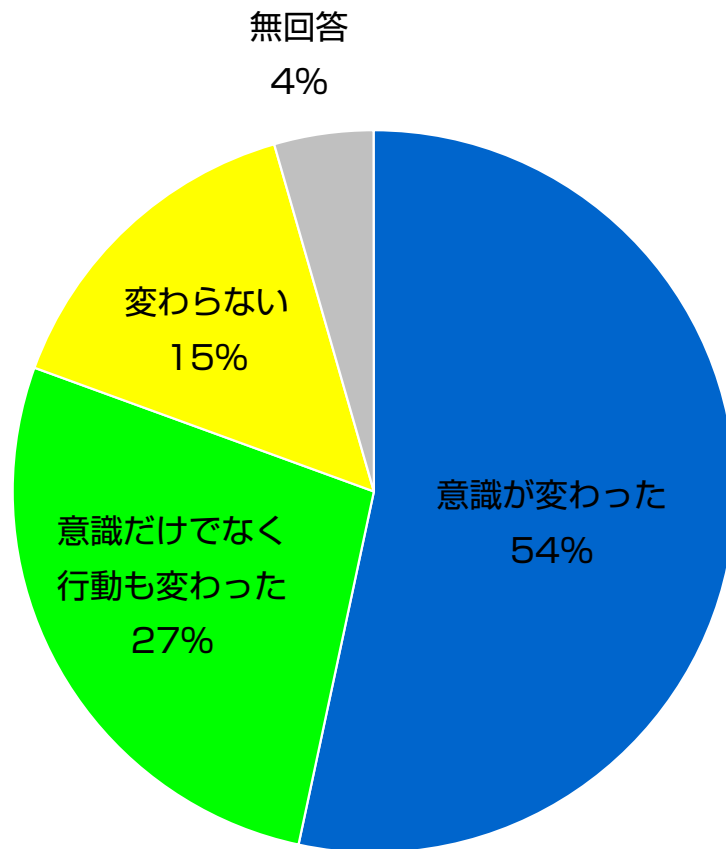
今回のモニターはオフィスで働く人が約8割であったためかパソコンで閲覧するWebサイト上でチェックができるとよいという意見が6割を超え最も多かった。

しかし、一方で業務で個人用のパソコンを使用しない人も多く、パソコン以外の媒体について手法を検討すべきである。

アンケート集計結果

【問5】 環境意識や、行動の変化

今回のモニター体験によって、以前よりも、人への思いやりや、環境にやさしい行動を意識するようになりましたか？



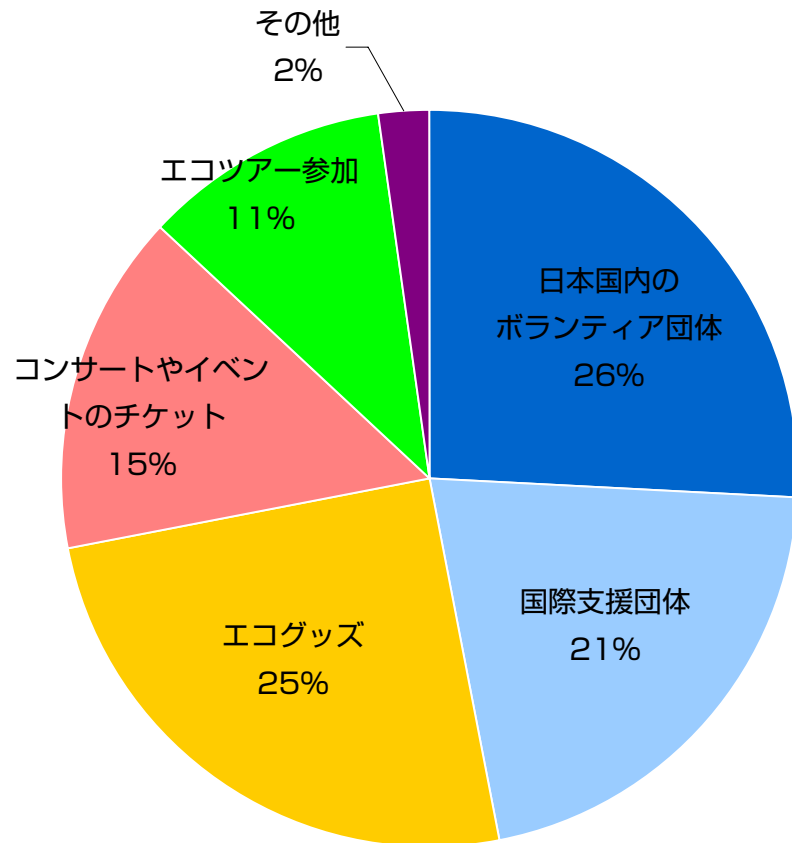
テストランニングでのモニター体験によって、意識や行動に変化のあった人は8割を超えた。

エコモチの仕組みは環境意識の高い人材を育てる効果が高いことがわかった。

アンケート集計結果

【問6】 インセンティブについて

シードがたまると何かに使えるとしたら、どんなもの・ことに使えたらよいと思いますか？



支援にシードを使うことに対する支持者は5割弱に及んだ。「日本国内のボランティア団体支援」が26%で最も多かった。

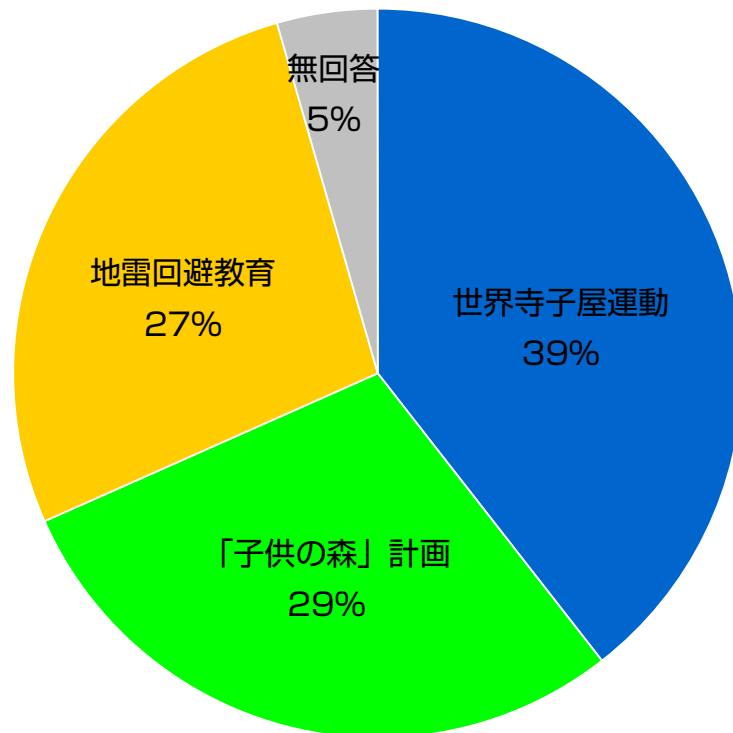
一方で、エコグッズやチケット、ツアー参加など自分自身に還元されるインセンティブを望む声も根強い。

※「その他」で挙げられた回答: スイカ、エディなどの電子マネー/個人業績への反映、自宅のエコ化への援助、会社のエコ基金/成績査定、昇格条件にする/税金/宝くじ、totoなど/商品券等/参加企業の商品を購入する際の割引ポイント/職場で使用できるエコグッズ/植林とかりサイクル活動強化に役立つ支援/地元の環境活動へ還元/徒歩/自転車通勤手段について距離に応じたボーナス/不要/エコ金券/研究機関への募金/植林用苗木など自分が使うものではなく環境対策になるもの

アンケート集計結果

【問7】 支援先について

世界寺子屋運動（社団法人日本ユネスコ協会連盟）、「子供の森」計画（財団法人オイスカ）、地雷回避教育（認定NPO法人難民を助ける会）の3つの支援先から、あなたが支援したい活動を1つ選んでください



支援先の選択割合は、3つの活動がうまくほぼ等分されたかたちとなった。

環境意識を高める主旨のプロジェクトで
ありがたいなら、環境分野への支援だけでなく
教育分野への支援、人道支援など人
それぞれ関心の分野が分かれることが
わかった。

アンケート集計結果

【問8】 自由記述欄

感想や、改善したほうがよい点について意見など自由にお書きください。

自由記述欄への記入件数： 209件

ご意見(件数の多いものを抽出)	件数
コンセプトが良い、有効な仕組みだと思う	34件
エコモチをきっかけに環境に配慮した行動がとれるようになった、意識付けになった	31件
継続実施・拡大実施したほうがよい	21件
行動メニュー・チェックシートが要改善	16件
行動メニュー・チェックシートについての具体的提案	15件
テストランニングの実施方法について説明不足だった	9件
寄付先についての提案	7件
つい忘れてしまう・リマインダーがあるとよい	5件

まとめ

- テストランニングによって、エコモチのコンセプトや仕組みが多くの人々に受け入れられるものであるという結論が得られた。
- 意識付けや行動の促進に実効性のある仕組みであることがわかった。
- 具体的な実施方法(行動メニューの内容やチェックシートの媒体、チェック方法など)についてはおおむね受け入れられたが細かな点で改善が必要であることがわかった。

■ 本件に関するお問い合わせ

エコモチ事務局(株式会社フルハシ環境総合研究所内)

担当: 上野

Tel: 03-3780-9733 Fax: 03-5728-3414

E-Mail: ecomoti@fuluhashi.jp

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-5エビス・S&S・ウエスト3F